

令和3年度 学校評価報告書

学校名	三田市立母子小学校
-----	-----------

1 学校教育目標

ふるさとを愛し よく考え 心豊かに たくましく生きる 児童の育成

2 今年度の学校重点目標

- ・教職員としての資質や実践的指導力の向上に努め、子どもたちに「生きる力」を育む教育を推進する。
- ・複式学級の良さを生かした教育課程を編成し、少人数指導の充実を図りながら、個に応じた教育を実践する。
- ・地域とつながり、地域に信頼される学校(三田型コミュニティ・スクール)を目指して、地域の特性を生かした教育を実践する。
- ・教職員と児童・保護者・児童間の相互理解を深め、ともに生きる社会につながる教育を実践する。
- ※小規模特認校母子小学校の教育活動の様子を、オープンスクールや学校ホームページで積極的に発信する。
- ・教職員が心身ともに健康で、子どもと向き合う時間を確保できる職場環境づくりを進める。

3 総合的な自己評価

- ・課題を見据えて具体的な提言や改善していく方向性が全ての教職員で共有できている。
- ・少人数の学校の特性を生かし、きめ細かな支援・指導を行うことができています。

4 総合的な学校関係者評価

きめ細かな支援・指導により、子どもたちは生き生きと活動しており、コミュニケーション力が増していると感じる。コロナ禍ではあるが、感染症対策を徹底し、学校行事等に積極的に取り組んでおり、とても感謝している。今後も継続した取り組みをお願いしたい。地域としても更に協力していきたい。

5 評価結果

自己評価				学校関係者評価
分野・領域	評価項目(取組内容)	評価結果及び分析	改善の方策	学校関係者評価委員会の意見
教育課程 学習指導	複式学級の良さを生かした教育課程を編成し、学び合いによる学力の伸長を図る。	・算数科を中心として、「おたずね」によってコミュニケーションを取り、学習内容を深めていく授業形態が定着している。子どもたちが主体的に学習に関わる姿勢を育てることができている。 ・一人学年では、「共同学習者」の教師が入り、ガイド学習を行い、コミュニケーション能力の向上に努めている。 ・学びを深めるおたずね等を教材研究時に予想し、教師の出場で意識させる支援が必要である。	・今後も算数科以外の教科でもガイド学習の要素を取り入れた授業を実践していく。 ・「共同学習者」としての授業の入り方にさらなる工夫と改善を図り、コミュニケーション能力を育てる授業づくりを行う。 ・「学習の山場」を設定し、子どもたちの深い学びとなるような仕掛けづくりを行う。 ・タブレット端末や大型テレビを効果的に活用し、情報機器等を使って説明する力を育てていく。	・少人数を生かした効果的な指導を行ってもらっている。それがコミュニケーション力の向上につながっている。継続した取り組みを期待している。 ・少人数ならではのタブレット端末の活用等、工夫してほしい。
	基礎的基本的な知識・技能を習得し、自己学習力の向上を図る。	・毎朝の漢字・計算アタックの結果をグラフ化したことで、児童自身が伸びを実感でき、基礎力向上に効果的であった。 ・学校司書と連携したブックトークやビブリオバトル等により、読書への関心が増した。 ・児童に対する支援の方法について教師間での共通理解に努め、児童のつまずきがあれば迅速に対応できた。	・毎朝の漢字アタック、計算アタックは継続して取り組み、タブレット端末等も効果的に活用する。 ・「母子家庭読書の日」の更なる定着を図り、家庭と連携しながら、読書活動の啓発に努めていく。 ・朝や放課後の時間を利用し、学習支援を行う。また、家庭との連携も密にし、家庭学習の定着を図っていく。	・毎朝の漢字・計算学習の継続した取り組みがありがたい。ここで培われた力が卒業してからも生かされていることを期待している。 ・タブレットを使った学習に力を入れて、母子の教育の特色の一つにしてほしい。
	学びの場面での人々との交流を通して、表現力を育成する。	・新型コロナ禍で、地域や保護者の方に来ていただく本校ならではの特色ある取組に様々な制限があったが、可能な範囲で実施することができた。 ・制限期間中は、神島小学校との交流、小規模交流、神楽教室等で ZOOM を活用し行うことで、子どもたちの表現力の成長が感じられた。	・校内での異学年交流、地域との交流、中学校区内の交流、他市の小規模校交流など様々な交流で更に効果的な表現力の育成に向けた取り組みを実施し、支援にあたる。 ・アフターコロナに向け、WEB等での交流も活用し、内容の充実を図る。	地域との交流を位置づけ、人に出会ったり、場所を訪れたり、特産物を育てたりする等の学習に取り組む、特色ある教育課程を編成しているのは地域としてとてもうれしい。今後も続けてほしい。
生徒指導 いじめ防止	あいさつ、掃除、宿題、学用品の用意等、基本的な生活習慣の形成を図ると共に集団生活の規律を守る態度を育てる。	・朝や帰りのあいさつは、すべての児童が意識して元気に行うことができています。 ・持ち物や提出物を学級通信や連絡帳で知らせてはいるが、宿題、忘れ物等の基礎的な生活習慣がまだ確立していない子どももいる。	前日に時間割を合わせる時に、持ち物や提出物も準備ができているかを確認する等、家庭と一層連携し、生活習慣の確立を図りたい。	・子どもたちのあいさつは非常に気持ちがいい。あいさつができる子どもたちにはいじめは起こらないと思う。いつでも気持ちいいあいさつができるよう、更に支援してほしい。 ・子どものサインを見逃さないよう今後も研修に努めてほしい。
	いじめに向かわない態度・能力を育てる。	・今年度は、「いじめに結びつくような事案」1件を報告。「いじめ対応チーム」を中心に、組織的に取り組み、全職員共通理解の上対応にあたる。どの児童にも起こり得ると考えてアンテナを高くもち、全教職員で情報を共有し児童と向き合う。	・普段から子どものことを話し、毎月の職員会議でクラス・児童の様子を交流する。 ・定期的に児童理解の校内研修会を持ち、早期発見、早期対応に努める。 ・人権意識を高めていくための学習が、より実践に結び付くように内容を工夫する。	
道徳教育 人権教育 特別支援教育 国際理解教育	互いを思いやり、自他の命と人権を大切にすることを育む。	・発達段階に応じて豊かな情操、道徳心、人権意識を高めていくための学習を実践することができた。 ・情報セキュリティについて、親子で聞く研修会を開催。情報化社会の現在、個人の情報を守ることは、自分や人を大切にすることにつながることを学習する。	・豊かな人権感覚を身につけるために、温かい雰囲気のある学校、学級を目指す。 ・今年度情報セキュリティ研修会を教育研修所でお世話になり開催。兵庫県警察、NTT Docomo 等、関係諸機関と連携し、内容、講師等毎年内容を変えながら開催していく。	・人権感覚を育むために熱心な取り組みをしていただいている。今後も継続した取り組みを期待したい。
	違いを認め、ともに生きる社会につながる態度を育てる。	・今年度も視覚障害の方、福祉作業所の人たちとの交流を予定していたが、感染症対策のため、実施できなかった。	・今年度も感染症対策のため、講師を招いての福祉講演会を実施できなかった。WEB での交流を含め、来年度は状況に応じ実施可能な取組を考えたい。	・コロナ禍ではあるが、様々な人との出会い、交流を大切にし、教育を進めてほしい。
防災・安全教育	災害から身を守る態度や、安全に気をつけて、生活する態度を育てる。	・1 学期に不審者対応、2学期に火災対応、3学期に地震対応の避難訓練を計画的に実施。課題を明確にするため、予告なしで実施する等例年にはない取組により、防災に対する意識を高めることができた。 ・教師による登下校指導や地区児童会を実施することで、登下校をはじめ帰宅後も安全に気をつけて生活することができている。	・今後も防災学習や避難訓練を計画的に実施し、地域と連携した防災訓練も年 1 回は実施し、防災教育を一層充実させたい。 (今年度はまん延防止等適応措置期間のため未実施) ・遊具の使い方等遊び方や北門からの飛び出しに気をつけて横断するように継続した指導を行う。	・今年度は地域防災訓練を行うことができなかったが、学校と地域が連携した取り組みを行う必要性は感じるので、来年度は工夫して実施していきたい。
保護者・地域住民との連携	・地域力を生かした教育内容を創造し、保護者や地域の人々の参画と協働を得て、魅力あるコミュニティスクールを推進する。	・コロナ禍で様々な制限があったが、制限解除期間中は、学校行事、オープンスクールを通して、地域の人材や素材を活かした学習や新たな行事に取り組めた。 ・学校地域運営協議会を通して、これまで本校が培ってきた保護者、地域との連携を推進していくことができた。	・今後も、地域の方、保護者の方の支援を受けながら、地域の人材や素材を活かした学習に取り組んでいく。そのために、学習に協力していただける地域の方を募っていく。 ・今後も通信やホームページ等で積極的な情報発信につとめ、保護者や地域の方々が来校しやすい学校づくりに努める。	・コロナ禍で地域と結びついた行事が例年通りにはできなかった。(運動会、芸術のつどい、オープンスクール等の参観のみ) ・保護者・地域のたくさんの方が参加し交流が深まる行事を検討し、実施してほしい。 ・学校だよりや学年だより、また毎日更新されているホームページで学校の様子を日常的に発信していただいていることに感謝している。

6 学校自己評価の実施状況について

時 期	内 容
6月	オープンスクール参観とアンケート
7月	いじめに関する児童へのアンケート
7月	七夕交流会、一輪車発表会への参観と聞き取り
10月	運動会への参観とアンケート
11月	母子芸術のつどいへの参観とアンケート
12月	いじめに関する児童へのアンケート
1月	学校・家庭生活についての児童・保護者アンケート
2月	教職員による学校評価
3月	いじめに関する児童へのアンケート

※学校自己評価…外部(児童生徒・保護者・地域等)アンケートの実施を含む

7 学校関係者評価委員会の活動について

時 期	内 容
6月	第1回学校地域運営協議会(年間予定について)
10月	運動会への参観と聞き取りによる評価
10月	第2回学校地域運営協議会(今後の行事・予定について)
11月	母子芸術のつどいへの参観と聞き取りによる評価
12月	第3回学校地域運営協議会(今後の行事・予定について)
3月	第4回学校地域運営協議会(学校評価・来年度に向けて)

8 学校評価の公表について

時 期	手 段	内 容	添付
3月	保護者アンケート	児童・保護者	○
3月	育友会・全体会	上記の結果をもとに、学校の考え方を示すとともに保護者と次年度の課題を共有する。	

※ 公表の具体がわかる印刷物等がある場合には添付願います